

■ 日本エネルギー界に君臨^{くんりん}

菅 禮之助

すが れいのすけ

出身地 秋田市

1883年（明治16年）～1971年（昭和46年）

戦後のエネルギー問題の解決のため、鉱業、石炭、
電力、原子力エネルギー関係産業の振興^{しんこう じんりょく}に尽力し
た。特に原子力の平和利用と産業開発の確立に関わ
った。俳人^{はいじん}であり、俳句集『裸馬翁五千句集』など
がある。菅禮治^{すがれいじ}の長男。



年譜

- 1883年 秋田市に生まれる。
- 1905年 東京高等商業学校卒業。
- 1939年 ^{ていこく}帝国鉱業開発社長。
- 1946年 石炭庁長官。後に、配炭公団初代総裁併任。^{そうさいへいにん}
- 1948年 公職追放で辞任。俳誌『同人』を主宰。^{はいし しゅさい}
- 1954年 東京電力会長。
- 1955年 電気事業連合会会長、経団連評議会議長。
- 1956年 日本原子力産業会議会長。
- 1971年 東京都で没。^{ぼつ さい}88歳。